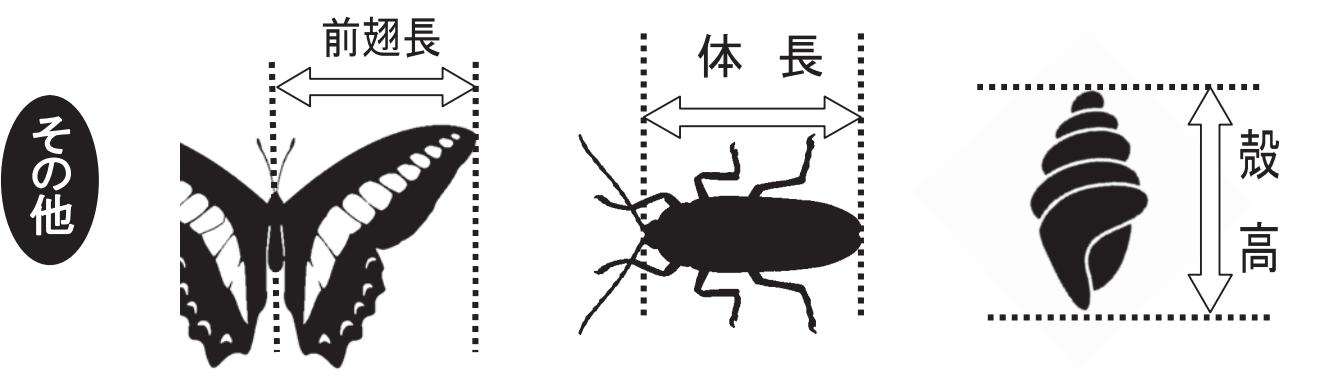
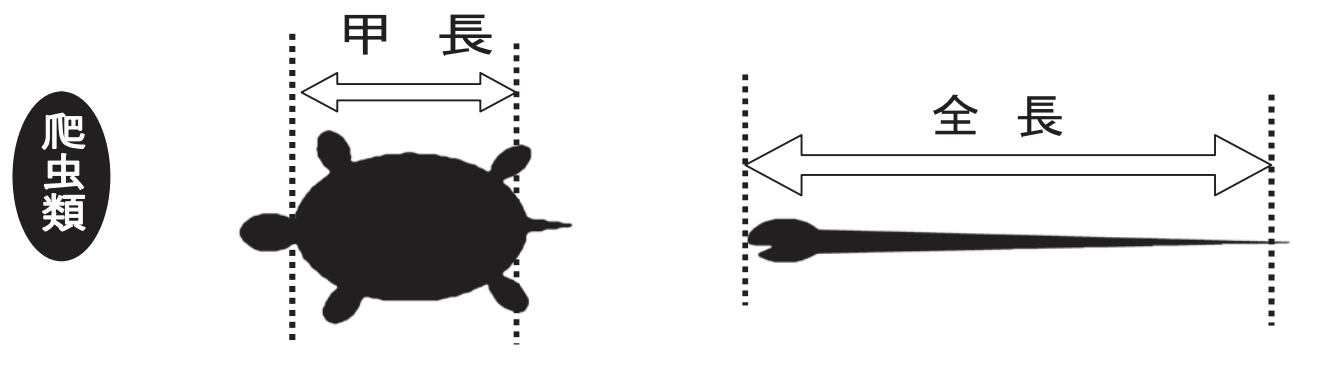
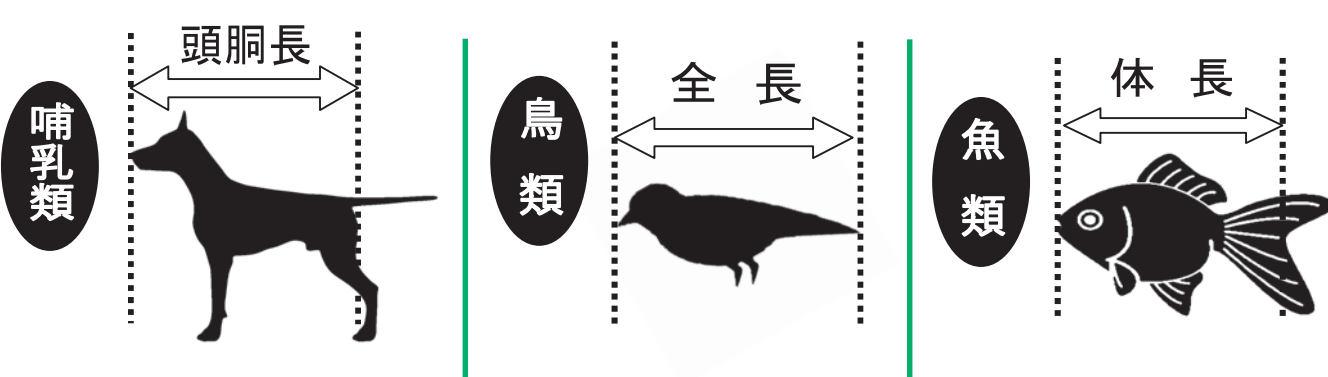


表記について

■生き物の名前について

このガイドブックでは、一般的に使われている「標準和名」を使用して表記しています。掲載しているものは、在来種や希少種といった「城陽の宝もの」です。

■生き物の大きさの表し方について



京都府・希少野生生物 カスミサンショウウオ

全国的に、激減傾向が著しい希少両生類の、唯一の記録に次ぐ追認が期待されている。



天然記念物の淡水魚 イタセンバラ

1990年に城陽市の木津川で発見され、密漁や生息環境の悪化などで絶滅した希少タナゴの再発見に期待！

突然変異の奇跡の命 アルビノ・セグロセキレイ

城陽市で突然変異の白いセグロセキレイが1995年3月に発見されて以来、今日まで周辺部で断続的に観察されている。



突如、謎の個体の発生 背中線・ヌマガエル

南方系と思われる背中線が入る個体が発見され、近年観察例が増加傾向にあり、継続調査の結果が注目されている。

幻の赤いクワガタ ヒラスゲンセイ

府内でも確認例がほとんどなかった南方系の希少昆虫が、近年城陽市で相次いで見つかり、情報提供が求められる。



緑起の良い弁天ナマズ 黄金のナマズ

古くから記録があり、近年城陽市でも今池川や古川で目撃されたアルビノと呼ばれるナマズの捕獲確認に期待！

城陽生き物ガイドブック

希少生物編

2018

知ってる？ 城陽の宝もの

～次代に残そうふるさとの生き物たち～



イラスト：富士鷹なすび

城陽市・市の鳥：白鷺(ダイサギ・チュウサギ・コサギ・アマサギ)

自然観察会の服装について

※イベントの内容、季節、場所によって異なります。あくまでも参考にしてくださいね。

- 季節に関係なく**長袖、長ズボンがおすすめ** 虫刺され、草負け(かぶれ)対策のため、夏でも肌の露出は控えましょう。森林内でのヤマビル対策にも有効です。
- 靴について** 自然観察会では歩きやすい運動靴がおすすめです。サンダルなどの露出のあるものは怪我に繋がる場合がありますので、避けたほうがよいと思います。川での観察会では川に入ったりします。サンダルだと濡れてしまうので、川に入っても簡単に脱げない靴を履いてご参加ください。
- 持ち物について** 水筒、タオル、筆記用具、虫除けスプレー、雨具の5点は必需品です。野鳥観察会では双眼鏡があると野鳥がよく観察でき、楽しめると思います。また、川の観察会では、水生生物がメインとなりますのでバケツなどがあると生き物を間近に観察することができます。



！気をつけること

- スズメバチの対策について** 森林や緑地など自然度の高い場所では様々な生き物が生息しています。なかにはスズメバチなど危険な生き物がいる場合もあります。個々で事前に出発の対策をご紹介します。
 - ・香水、化粧品、整髪料、ジュースなどの甘い飲物には、スズメバチの警報フェロモンと同じ物質が含まれているものがあるため避けましょう。
 - ・黒色を攻撃する性質があるため黒色、暗色の服を避けましょう。
 - ・長袖・長ズボンを着用し、首にタオルを巻くなど露出を控え、被害を最小限に抑えましょう。
 - ・黒い頭髮の場合、帽子を被りましょう。
- 特に暑い熱中症対策** 高温、多湿、風が弱い、熱を発生するものがあるなどの環境では、体内に熱がこもり、汗の蒸発も不十分になるため、熱中症になりやすくなると言われています。
 - ・綿や麻などの通気性の良い生地を着用したり、帽子を着用して日よけ対策をすることもおすすめします。観察会の前日にはしっかりと睡眠をとり、ご飯を食べ、当日は必ず飲物を持参しましょう。また、必要に応じて塩分や糖分を摂取することもおすすめします。



科	標準和名	京都RDB2015	観察頻度	2010~2017	記録
モグラ	アズマモグラ	NT	*	未確認	聴取
トガリネズミ	ジネズミ(サイコクジネズミ)	NT	▲	未確認	調査
キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	NT	*	未確認	聴取
オナガザル	ニホンザル(ホンドザル)	DD	○	確認	調査
イヌ	キツネ(ホンドキツネ)	DD	△	確認	観察会
アライグマ	アライグマ	D	○	確認	調査
イタチ	チョウセンイタチ	D	◎	確認	観察会
リス	ムササビ	NT	△	未確認	調査
ネズミ	カヤネズミ(ホンショウカヤネズミ)	NT	○	確認	観察会
ヤマネ	ハタネズミ	NT	△	確認	調査
ヌートリア	ヤマネ	VU	*	未確認	聴取
ジャコウネコ	ヌートリア	D	◎	確認	観察会
	ハクビシン	D	▲	確認	調査

標準和名	分類	京都RDB2015	観察頻度	標準和名	分類	京都RDB2015	観察頻度
ウスラ	冬鳥	CR	▲	イソシギ	留鳥	NT	◎
コジュケイ	留鳥	D	◎	トクネン	旅鳥	VU	△
ヤマドリ	留鳥	NT	△	オジロトクネン	旅鳥	VU	○
コノクサコウ	冬鳥	NT	*	ヒヨドリ	旅鳥	VU	△
オシドリ	冬鳥	NT	△	クズリシギ	旅鳥	NT	◎
シマアジ	旅鳥	NT	△	ハマシギ	旅鳥	VU	○
トモエガモ	冬鳥	NT	▲	タマガシ	夏鳥	VU	○
ホオジロガモ	冬鳥	NT	*	ツツメドリ	旅鳥	VU	△
ミコアイサ	冬鳥	NT	○	ウミコ	冬鳥	DD	▲
カワアイサ	冬鳥	NT	△	コアサザン	夏鳥	VU	○
カイツブリ	留鳥	NT	◎	ミサゴ	冬鳥	VU	○
アオバト	冬鳥	NT	○	ハチタマ	旅鳥	VU	△
オオミスズナドリ	旅鳥	DD	△	チュウビ	冬鳥	VU	△
コノトリ	留鳥	VU	*	ハイロチュウビ	冬鳥	VU	○
ヨシゴイ	夏鳥	VU	△	ツミ	留鳥	VU	○
ミゾゴイ	夏鳥	CR	▲	ハヒタカ	冬鳥	NT	△
ササゴイ	夏鳥	NT	○	オオタカ	留鳥	VU	○
チュウサギ	留鳥	NT	○	サンバ	夏鳥	VU	○
クイナ	冬鳥	VU	△	ノスリ	冬鳥	NT	◎
ヒクナ	夏鳥	VU	○	コノハズク	留鳥	CR	*
オオハヤ	留鳥	NT	△	フクロウ	留鳥	NT	△
ジュウイチ	旅鳥	NT	*	アオバズク	夏鳥	NT	○
ツツドリ	旅鳥	NT	○	トラフズク	冬鳥	VU	▲
カウカウ	旅鳥	NT	◎	コムシク	冬鳥	VU	△
ヨチカ	夏鳥	VU	○	ヤマセミ	留鳥	VU	△
ヒメアマツバメ	留鳥	VU	○	アリスシ	冬鳥	NT	△
タグリ	旅鳥	NT	△	オオアマガエル	留鳥	VU	▲
ムナグロ	旅鳥	NT	◎	アカガエル	留鳥	NT	△
イカルチドリ	留鳥	NT	○	チョウゲンボク	冬鳥	VU	◎
シロチドリ	留鳥	VU	○	チョウゲンボク	冬鳥	VU	○
セイタカシギ	旅鳥	NT	△	チゴバブサ	旅鳥	NT	▲
ヤマトシギ	冬鳥	VU	○	ハヤブサ	留鳥	VU	○
アオシギ	冬鳥	VU	▲	サンショウクイ	旅鳥	VU	○
オオシギ	旅鳥	NT	◎	サンショウクイ	夏鳥	NT	△
ハソシギ	旅鳥	VU	*	コクマルガラス	冬鳥	NT	○
チュウシギ	旅鳥	NT	○	ツリスガラ	留鳥	NT	△
オグロシギ	旅鳥	VU	△	コムクドリ	旅鳥	VU	△
チュウシヤクシギ	旅鳥	NT	◎	トラツグミ	冬鳥	NT	△
ホウロクシギ	旅鳥	VU	▲	クロツグミ	旅鳥	NT	▲
ツルシギ	旅鳥	VU	△	コリ	旅鳥	NT	△
コアオアシシギ	旅鳥	VU	△	コサメビタキ	旅鳥	VU	○
アオアシシギ	旅鳥	NT	◎	クロジ	冬鳥	VU	△
クサシギ	旅鳥	NT	◎	ドト	留鳥	D	◎
キアシシギ	旅鳥	NT	◎	ベニズメ	帰化鳥	D	△

科	標準和名	京都RDB2015	観察頻度	2010~2017	記録	地名
イソギ	クサガメ	DD	◎	確認	観察会	泥亀
	ニホンイソギ	DD	○	確認	観察会	岩亀
	ミナミイソギ	NT	△	確認	観察会	
	ミナミイソギアカミミガメ	DD	○	確認	観察会	ミドリガメ
スッポン	ニホンスッポン	DD	◎	確認	観察会	マル
	ニホントカゲ	DD	○	確認	観察会	青トカゲ
ナミヘビ	シマヘビ	DD	解除	確認	観察会	
	ジムクリ	DD	△	確認	調査	
	アオダイショウ	DD	◎	確認	観察会	家守
	シロマダガ	DD	△	確認	調査	
クサリヘビ	ヒシヤリ	DD	○	確認	調査	アズキ蛇
	ヤマカガシ	NT	○	確認	調査	
	ニホンマムシ	DD	○	確認	調査	ハム

科	標準和名	京都RDB2015	観察頻度	2010~2017	記録	地名
サンショウウオ	カスミサンショウウオ	CR	*	未確認	文献	
	ヒダサンショウウオ	NT	*	未確認	聴取	黒イモリ
	オオサンショウウオ	VU	*	未確認	聴取	ハンザキ
	イモリ	アカハライモリ	DD	○	確認	観察会
ヒキガエル	ニホンヒキガエル	NT	▲	確認	調査	ガマガエル
	ヌマガエル	DD	◎	確認	観察会	ドロガエル
アカガエル	ニホンアカガエル	DD	△	確認	観察会	アカガエル
	ヤマアカガエル	DD	△	確認	観察会	
	トノサマガエル	DD	◎	確認	観察会	
	ナゴヤダルマガエル	CR	△	確認	観察会	
	ウツガエル	D	○	確認	観察会	食用・雷蛙
アオガエル	ツチガエル	DD	△	確認	観察会	イボガエル
	シュレーゲルアオガエル	DD	△	確認	調査	大雨蛙
	モリアオガエル	DD	△	確認	調査	泡蛙
	カジガエル	DD	*	未確認	聴取	

科	標準和名	京都RDB2015	観察頻度	科	標準和名	京都RDB2015	観察頻度
ヤツメウナギ	カウヤツメ	VU	*	ハス	ハス	DD	○
	シジマス	D	*		ヌマムツ	NT	○
サケ	アマゴ	NT	*	コイ	ワカガ	DD	▲
	ヤリタナゴ	VU	▲		ソウギョ	D	▲
	カネヒラ	VU	○		ハクレン	D	*
	シロヒメタナゴ	OR	▲		アユモドキ	CR	▲
コイ	イシメダナゴ	OR	▲	スジマダナゴ(中型)	CR	▲	
	イタセンバラ	OR	*	ナマズ	ワケモノナマズ	DD	*
	タイリクバラタナゴ	D	◎	メダカ	ミナメダカ	VU	◎
	カワヒギ	VU	▲	カダヤシ	カダヤシ	D	◎
	ツチフキ	CR	▲	オオクチバス	D	◎	
	ズナグニ	VU	○	サンフィッシュ	ブルーギル	D	◎
	ホンモロコ	DD	○	ハゼ	ヌマチチブ	D	◎
	ぜぜ	OR	◎	タイワンドジョウ	カマルチ	D	◎
	ヨドゼラ	NT	▲	タウナギ	タウナギ	D	◎
		アブラハヤ	OR	△			

🐾 リストの見方

生息確認と観察頻度	2010~2017	京都府レッドデータブック(RDB)
◎ 多い	2017年までの城陽環境パートナーシップ会議での確認状況	CR：絶滅寸前種 VU：絶滅危惧種
△ 少ない		NT：準絶滅危惧種 DD：要注意種
* 記録あり(文献・マスコミ記録、聴取)		D：要注意外来生物

製作・発行 城陽環境パートナーシップ会議

※本書の内容について無断転載・複製を禁じます



オオタカ

鳥類 タカ科
全長 ♂50cm ♀57cm
京都府RDB：VU

かつて幻の鳥と呼ばれた希少猛禽類は、まれな冬鳥から繁殖が確認されるまでになった。



城陽市の木津川河川敷は蚕の原種・クワコ発見の地



チョウゲンボウ

鳥類 ハヤブサ科
全長 ♂30cm ♀33cm
京都府RDB：VU

近年「絶滅危惧種」に掲載されたハヤブサの仲間は、冬鳥から年中観察される留鳥に。

極東アジアの世界的な希少種 南山城地方の環境代表種

コアジサシ

鳥類 カモメ科 全長 28cm
京都府RDB：VU



標識調査によって、オーストラリアからのリターンが実証された。

水田で子育てする身近な水鳥が京都府の希少野生生物に



フクロウ

鳥類 フクロウ科
全長 ♂50cm ♀59cm
京都府RDB：NT

城陽市の東部丘陵地は、夜の猛禽類のフクロウとアオバスの繁殖の地として知られる。

ヨシ原の減少で生息地を追われる環境難民

クワコ

昆虫類 カイコガ科
全長 6cm

かつては中国まで採集に出かけた幼虫が発見され、飛躍的な研究成果が得られている。



絶滅に瀕する希少陸貝 求められる生息地の保護と対策

ケリ

鳥類 チドリ科
全長 35cm
環境省RDB：DD

ケリが子育てをする農耕地は、餌が豊富な農薬の影響が少ない優良農地の証。



城陽市は全国に誇る珍蛇の郷

タマシギ

鳥類 タマシギ科 全長 24cm
京都府RDB：VU



抱卵から育雛までをオスが行う「一妻多夫」鳥。

絶滅の淵に立つ希少蛙



カヤネズミ (ホンシュウカヤネズミ)

哺乳類 ネズミ科
頭同長 50~80mm
京都府RDB：NT

ヨシヤカヤ、ススキやイネなどに、テニスボール大の巣をかけて、子育てをする。

追認情報が期待される目撃記録が皆無の小型哺乳類

アズキガイ

陸産貝類 アズキガイ科
殻高 約1cm
京都府RDB：VU

開発による影響が大きい生息地の保全と、適地への移植が課題。



※大ききの比較としてカタツムリを置きました。

城陽市・木津川右岸は、繁殖地として京都府の自然 50 選に

ジムグリ

爬虫類 ナミヘビ科
全長 70~100cm
京都府RDB：DD

腹部の市松模様が特徴の日本一美しい蛇。



シロマダラ

爬虫類 ナミヘビ科
全長 30~70cm
京都府RDB：DD



京都府で8種類目となる幻の蛇が、城陽市内で相次いで発見された。

里山環境の指標となるかつての身近な蛙

ナゴヤダルマガエル

両生類 京都府RDB：CR
全長 ♂35~62mm ♀37~73mm



城陽市は、京都府内でも数少ない生息地。

生息情報が途絶えて久しいガマガエル

トノサマガエル

両生類 京都府RDB：DD
全長 ♂38~81mm ♀63~94mm

ジネズミ (サイゴクジネズミ)

哺乳類 トガリネズミ科
頭同長 61~84mm
京都府RDB：NT



木津川河川敷で唯一の屍確認記録がある。

最も絶滅の危機にある淡水魚 細分化され小型種は絶滅宣言!

ニホンスッポン

爬虫類 甲長 20cm~35cm
京都府RDB：DD

甲長38.5cm、体重7.3kgの日本一の大スッポンが捕獲され、博物館で学術標本に。



ニホンアカガエル

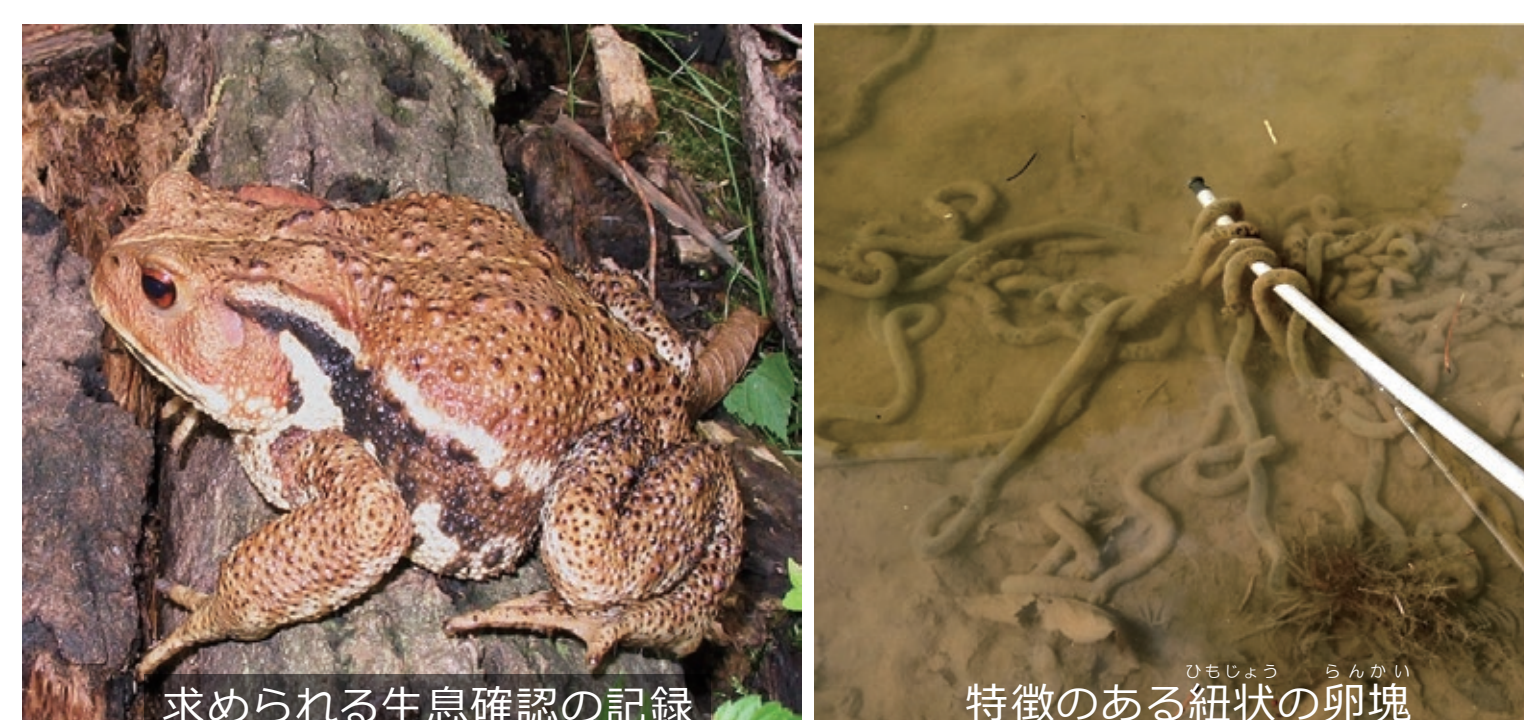
両生類 アカガエル科
全長 ♂45mm ♀60mm
京都府RDB：DD



絶滅の危機が増大するカエルの仲間にあつて、生息地域の減少が著しい注目種。

ニホンヒキガエル

両生類 ヒキガエル科
全長 ♂110mm ♀115mm
京都府RDB：NT



求められる生息確認の記録

特徴のある紐状の卵塊

スジシマドジョウ (中型種)

魚類 ドジョウ科
体長 ♂7cm ♀9cm
京都府RDB：CR



絶滅種・ヨドコガタスジシマドジョウの再発見に期待